

関ヶ谷市民の森愛護会

(平成 18 年度第4回役員会決定事項等)

平成18年11月5日

「森を楽しむ、森づくり」

日本は国土面積の約7割が森林で、世界でも有数の森林国です。森林のうち約4割は、スギやヒノキ、カラマツなど、人の手によって作り育てられた森林(人工林)です。今その人工林が30年以上も前から荒れてきています。なぜでしょうか。

四国の農家で育った私が子供の頃は、山の木は薪として貴重な燃料であり、炭は火鉢やコタツの暖房など欠かせないものでした。又建築材料としても木は重要な役目を果たしていました。そして戦後は、昭和天皇の毎年の植樹祭行幸に象徴されるごとく、日本全国にわたってスギやヒノキが沢山植えられました。しかしその後は、エネルギー革命や安価な輸入材が流入してくることにより、日本の人工林は手入れされずに放置されてきました。その結果、健康を失った森林はこの30年間、雪害、山地崩壊、水害、風害など多くの森林被害をもたらしています。今年7月の長野県の大雨による土石流災害などもまさにその一つと言っていいでしょう。

スギやヒノキなどの若い針葉樹・人工林は、広葉樹・天然林に比べると、幹が細い。根も小さく浅くて、土をつかむ力が弱いのです。森林災害や花粉症を防止するには、スギやヒノキの間伐を進め、植林後の手入れが少なく済むコナラやカエデなどの広葉樹を植える必要があります。そして今の人工林を、人手のかからない自然林へ戻すことが、日本の林業の問題解決の一つだと考えます。

私は1998年4月、かなざわ森沢山の会の設立時から参加し、9年目の活動に入りました。本年は市民の森の手入ればかりでなく、5月には横浜市

の貴重な水源林である「道志水源林の間伐」に、会のメンバー10人で一泊2日の日程にて出かけました。この11月8～9日にも、一泊二日に出掛ける予定です。

人工林は間伐や下草刈りなど手入れを繰り返さないと育ちません。人の子も森に似ています。躰という間伐で、愛の光を当てないと枯れてしまいます。森づくりはイコール人間作り。関ヶ谷市民の森愛護会の皆さんも、ご一緒に力を合わせ、大いに楽しみながら森を育てて行こうではありませんか。

(2006. 9. 2. 池田相談役)

(参考)「関ヶ谷市民の森」の今年度の植林計画について

1. 現在までの経過

植林は、森を良い状態に維持するための植樹管理において、間伐、伐採、草刈りなどと同様に重要な作業である。植林は他の市民の森でも行われており、この関ヶ谷市民の森でも今年4月の総会時にその必要性が採択され、面積は狭いながらも植林可能な対象地域3ヶ所を選定した。本年度は、その最初として、鈴木会長宅に隣接する場所を選び、5月から10月にかけて、杉の伐採と草刈を中心に準備作業を行ってきた。

2. 今後の準備作業

実際に植林する時期は、平成19年2月から3月にかけてであるが、11月以降来年1月まで行う二次的な準備作業としては、杉の切り株、伐採後放置されている玉切りされた杉の幹や枝の片付けを行う。また、植えた苗木を支える支柱を間伐材を利用して作る。

3. 苗木の選定

今回の植林は、「梅の苗木」を予定している。梅は、開花期間も比較的長いので、長い期間花を楽しむことが出来る上、冬枯れの中最初に咲いてくれる花木でもある。もし、会員の方々に梅以外にも希望があれば、出来るだけ取り入れたいと考えている。植樹する梅の苗木の数は、対象地域の面積から30本前後を見込んでいる。

(2006. 10. 17. 日高副会長)

以下は、平成18年11月4日の「定例役員会」における決定事項の連絡です。

[I] 今後の活動予定

平成18年

- 11月11日(土) 公式活動日(竹林の間伐、パンジーの植込み等)
- 26日(日) 公式活動日(植樹地域の整備等の植樹準備作業等)
- 12月 9日(土) 午前7時から終日「炭焼のデモ」(任意参加)
- 10日(日) 公式活動日(植樹準備作業後、窯開きと忘年会)
- 24日(日) 公式活動日(竹林の間伐、竹製の門松造り等)

平成19年

- 1月13日(土) 公式活動日(植樹支柱作り等の植樹準備作業等)
- 28日(日) 公式活動日(同上)

(注) 年度内の活動日は、間伐、植樹準備、植樹等の作業がたて込む為、活動日は全て「公式活動日」とし作業後「茶話会」を行う

[II] 今後のパトロール予定

平成18年

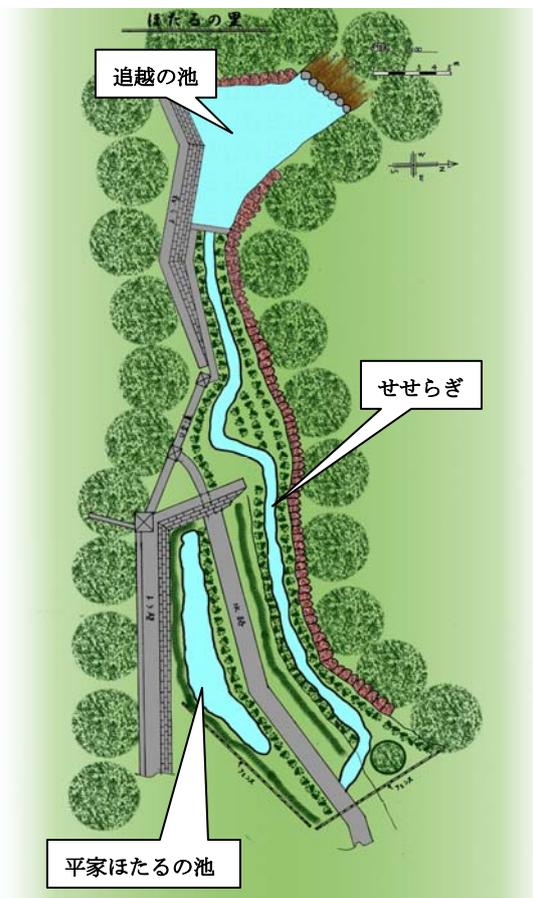
- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 11月 5日(日) | 日高 清之 | 星野 洋 |
| 12日(日) | 戸次 鎮治 | 戸次 明子 |
| 19日(日) | 松苗 留吉 | 松本 哲朗 |
| 26日(日) | 松原 勉 | 梁瀬 勉 |
| 12月 3日(日) | 宮本 英利 | 宮本 久美 |
| 10日(日) | 山口精一郎 | 吉川 征治 |
| 17日(日) | 吉田 文雄 | 飯野 光吉 |
| 24日(日) | 池田 陽一 | 大木 通宏 |

平成19年

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 1月 7日(日) | 小倉 征子 | 齋藤 和子 |
| 14日(日) | 加藤 文明 | 古賀 卓郎 |
| 21日(日) | 門田 教与 | 塩山 裕子 |
| 28日(日) | 佐野 庄次 | 澤 邦彦 |

(注) パトロール結果は、必ず、鹿谷副会長(電話かファックス:電話番号、電子メール:アドレス)あてに、ご報告下さい

「ほたるの里」のイメージ図



「ほたる復活クラブ」の中に「ほたるの飛ぶ森プロジェクト」を立ち上げたことは既報の通りですが、その後プロジェクトは篠原P Lを中心に着々と進められています。

左の吉田T Aによるイメージ図は、「いこいの広場」奥の湧水源から同広場に至る長さ50mの「ほたるの里」の完成予想図です。目下、「追越の池」はほぼ完成し、行政の視察による確認も得ています。

今後は、行政のご支援を得ながら、「追越の池」から「いこいの広場」に至る長さ40m程の「せせらぎ」を来年4月迄に掘削するとともに、「関東学院側の擁壁」と既存のコンクリート水路との間に細長の「平家ほたるの池」を5月迄に造成することを予定しています。皆様のご協力を期待します。

なお、来年6月に「平家ほたるの池」にテスト放流する予定の「平家ほたるの幼虫」は、本年9月以降、鈴木、戸次、吉田、橋本、宮本の5クラブ員がそれぞれの自宅で飼育中です。幼虫は、カワニナやタニシを好み、2cmに近い大きさに育っています。来年6～7月のテスト飛翔が楽しみです！

(注)「ほたる飛ぶ森プロジェクト」のその後の経緯

- 06. 8. 29. 行政（環境創造局・南部公園緑地事務所・金沢土木事務所から6名）への原案説明とその現地視察
- 06. 9. 30. 「追越の池」の造営工事を開始
- 06. 10. 7. プロジェクトの活動資金として、(財)都市緑化基金が提供する「花王・みんなの森づくり活動助成」を申請することを決定
- 06. 10. 20. 行政（南部公園事務所・金沢土木事務所から3名）による「追越の池」の視察。また、同池からの放水用パイプの敷設等難工事への協力要請
- 06. 10. 29. (財)都市緑化基金あて、「花王・みんなの森づくり助成」を得るための申請書を作成・提出

[IV] 炭焼きのデモンストレーションと忘年会

(イ) 第一回目の炭焼きの結果

第一回目の「竹炭焼き」は、去る9月30日の午前7時過ぎ火入を行い、窯内温度をコントロールしつつ約10時間、午後5時頃まで焼き続けました。窯が冷えた翌10月1日に窯を開き竹炭を取出した結果は以下の通りでした。

竹炭の出来は、「かなざわ森沢山の会の窯」に匹敵する出来栄で、初窯としてはまずまずの成果でした。敢えて言えば、炭がやや軟らかく光沢に欠けるということでした。今後は、素材の選択と窯内温度管理に一層の工夫が求められるということです。

(ロ) 炭焼きのデモンストレーションと忘年会

第二回目の「竹炭焼き」は、なるべく多くの会員にご視察戴けるように企画しました。[I]の「今後の活動予定」欄にも記載の通り、来月12月9日(土)は、午前6時の火入れから午後5時までを「炭焼きの日」とし、炭焼き活動をご覧になりたい方は、この時間帯なら何時でも自由にご視察戴けることにしました。

そして、翌12月10日(日)を「公式活動日」として、午前9時から午前11時までの樹林管理活動の後、炭焼窯を開き、炭焼き結果をご披露しつつ、その竹炭で「バーベキュー忘年会」を挙ります。多数のご参加を期待します！
なお、第二回炭焼きのための準備作業は、12月2日(土)10時から行いますので、関係者は、炭焼小屋前にご参集下さい。

炭焼きのデモンストレーションと忘年会の開催

| | | |
|-----------|---------------|--------------------|
| 12月 9日(土) | 午前6時から午後5時頃まで | この間自由参加 |
| 12月10日(日) | 午前9時から午前11時まで | 公式活動日(主に植樹準備作業を行う) |
| | 午前11時頃から | 窯開き |
| | 正午から | 忘年会 |

[V] その他のクラブ活動等

(イ) 園芸クラブ

日高副会長の温室で育成中のパンジーが移植可能な状況に成長したので、来る11月11日(土)の活動日に、「いこいの広場」の花壇への植え込み作業を行います。同時に、日高さんからご寄贈戴く葉牡丹も花壇周辺に移植します。園芸クラブ員のご協力をお願いします。

(ロ) 木工クラブ

本年最後の公式活動日、12月24日(日)には、竹林の間伐後、その間伐材を利用して「門松造り」を行います。

なお、木工活動の一環として、篠原会員が「炭焼き小屋」の前の広場(奥座敷)用に頑健な小テーブル二台を作成し寄贈して下さったほか、物置小屋の中の整理整頓に惜しみない工夫と労力を提供くださったことを感謝を込めてご報告いたします。

竹製の門松造り

12月24日(日)午前10時半頃から正午まで 竹製の門松造り

[V] 次回定例役員会

次回定例役員会は、来年1月6日(奇数月の第一土曜日)午後7時から、「山の手自治会館」において開催します。役員は万障お繰り合わせの上ご出席下さい。

関ヶ谷市民の森愛護会会長 鈴木 勲

(文責 総務担当 宮本 英利)